



絆

— きずな —

第12号

中総体期間を終えて 県大会出場の皆さんおめでとうございます!

3日間の中総体期間は、大会に出場した人、家庭で過ごした人、それぞれの時間の過ごし方がありました。1学年では大会に向けて、自分の決意や先輩に向けてのメッセージなどの掲示物を作成しました。先輩の皆さんのメッセージも掲示されていますので、部活動の先輩の思いに触れ、祈るような気持ちで中総体を迎えた1年生も多かったようです。

15日(火)1校時の中総体報告会では、校長先生から熱戦が繰り広げられた北中生に労いのお言葉をいただきました。「目標を達成してうれし涙を流した人もいれば、仙台市内の大半の中学生が悔し涙を流したことでしょう。本校でも悔し涙を流した人がいるはずですよ。この思いを勝った人も負けた人も、しっかり心にとどめてほしい。これからの人生いろんなことが喜びだけとは限らない。喜びも悔しさも様々なことを経験し心が豊かになり人生は進んでいくのです。部活動だけでなく、勉強や委員会活動、学校の行事でも新たな目標に向かって進んでほしい」このような趣旨のお話でした。

各部の結果については、学校だよりをご覧ください。

◆生徒の皆さんの作文「中総体期間を終えて」を紹介します。

1-2 KI

私は、剣道部団体戦の3番目か2番目くらいに大きなポジションで、みんなの足を引っ張らずに自分なりに最大の力を出し切って県大会に出場するという目標をもって臨みました。試合の中では、自分は負けませんが、チームの流れを良くしなくてはいけない場面になると、緊張に負けて上手にチームの流れを良くすることができなくて、チームが負けてしまいました。でも、目標にあるように県大会に出場することができましたし、反省はありますが、後悔はありません。「よかった。やり切った!」という気持ちになれるように、市中総体の中での反省を生かして、普段の部活動の時も全力を出し切って県大会でいい結果を出せるように頑張りたいです。

1-1 MM

試合では、悔いの残らない思い切ったプレーをすることができました。何回も転びましたが、すぐに立ち上がる事ができました。TOではモップ点数をやり、モップはすみずみまできれいにすることができました。試合がない待ち時間は、先生に言われて勉強をしていました。錦ヶ丘中戦では、先輩のあきらめずにガッツのあるプレーを見ることができて勉強になりました!また、自分の反省点では、そとからのシュートと軸足です。練習では、スリーも入っていたのに試合では入らなくなったりしたので、今後の練習で注意してやりたいです。

1-1 KM

1日目のソフトテニス団体戦では、先輩とペアを組んで出場しました。2回勝てました。私が勝てたのは、私がミスしたときに先輩が「大丈夫。気にしないで」と言ってくれたからです。もし、その言葉がなかったら、多分勝てなかったと思います。

2日目の個人戦では、2回戦までやりました。デビュー戦だったので、とても緊張しましたが、1ゲームもとられないで勝てたので良かったです。

3日目も個人戦でした。決勝までやりました。私たちが試合の時、先輩たちが、応援に来てくれました。嬉しかったです。そのおかげで勝てたのだと思います。来年もまた優勝できるように頑張りたいと思います。

1-2 RT

野球の試合では初戦五橋中に10対7で負けてしまいました。1回に五橋に7点、次の回に1点と計8点をとられ、誰もが負けるだろうと思いましたが、僕たちはあきらめずに試合をしました。少しずつ少しずつでしたが、点数をとっていき、7点まで来ました。もう少しで逆転して勝てるのではないかと思います。しかし、あと一歩及ばず負けてしまいました。ですが、3年生の先輩、スタメンとして出ている2年生の先輩たちは、一生懸命試合に集中していました。みんなが一生懸命応援していました。先輩たちともまだ練習をしたかったです。ですが、今度は僕たちが先輩になるので、後輩に良い先輩だと言ってもらえるように、3年生の先輩のようなプレーをしたり、積極的に行動したりできるようにしたいです。

<北中写真館>

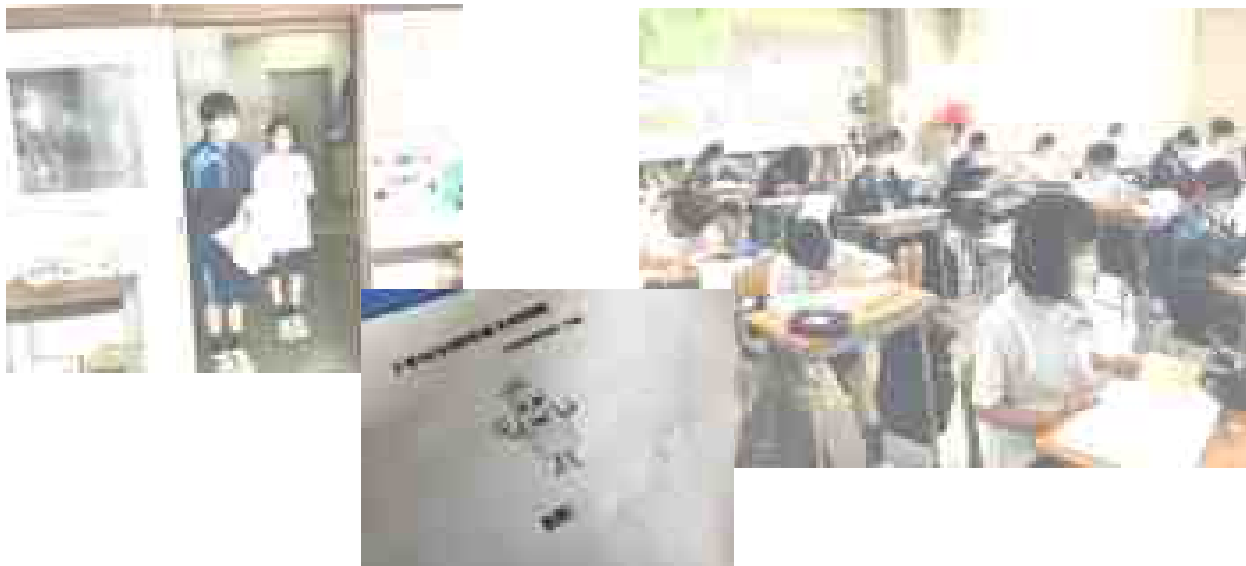
1学年からの中総体応援メッセージで、各部の皆さんに激励の気持ちを含めました。



剣道部女子団体第5位、女子ソフトテニス部個人戦優勝、県大会出場おめでとうございます！



学年委員会で手作りの中間考査予想問題を作りました。みんな熱心に取り組んでいます。内容は盛りだくさんです。後日担任の先生に提出してもらいます。



*北中発表会ポスター原画募集しています。挑戦してみたい人は、担任の先生から用紙を受け取ってください。6月28日(月)までです。